



100 years
Vorsprung durch Technik

Audi A3 Sportback



3
3.0 TFSI quattro (252馬力)
4000cc/252馬力



4
40 TFSI quattro (225馬力)
2000cc/225馬力



F
FSI (180馬力)
1800cc/180馬力

オーディオシステム株式会社
東京都中央区新富町1-1-1 新富ビル 710-0000
オーディオシステムセンター ☎0120-595106
オーディオシステムホームページ www.audi.co.jp

●オーディオシステム株式会社は、オーディオシステム株式会社の子会社です。
●オーディオシステム株式会社は、オーディオシステム株式会社の子会社です。
●オーディオシステム株式会社は、オーディオシステム株式会社の子会社です。

Contents

Design

- 02 Exterior
- 26 Interior
- 36 Quality

Technology

- 10 Power train
- 14 quattro®
- 18 Chassis

Safety

- 20 Passive Safety/Active Safety

Equipment

- 30 Navl & Audio
- 32 Luggage room
- 46 Equipment

Colors

- 48 Body Colors
- 50 Combination Menu
- 51 Equipment Option list
- 54 Specifications

Model lineup

- 41 Audi A3 Sportback 2.0 TFSI quattro
- 42 Audi A3 Sportback 1.8 TFSI
- 43 Audi A3 Sportback 1.4 TFSI
- 44 S-Line
- 56 History
- 58 Ecology
- 60 Audi Ambassador Club



隠れないものがある。たとえコンパクトであってもプレミアムであること。
ポピュラーであることと一線を画するライフスタイルのように。









跨れるものがある。モータースポーツによって培われてきたAudiの遺伝子。
その比類なきスポーティさと高い環境性能を共に携えて。

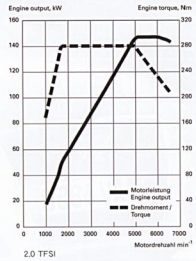
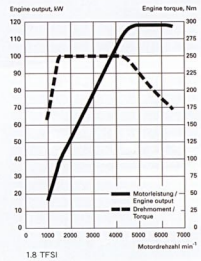
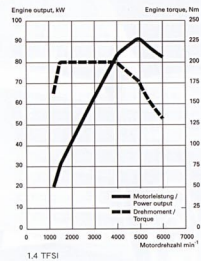




エンジンさえもプレミアムコンパクト。走りと燃費を両立するTFSI。

走りと低燃費は両立しない……そんな先入観を、Audiは見事に打ち破りました。燃費向上には排気量を小さくするのが効果的。しかし、それだけでは出力が低下し、走りの楽しさは半減します。そこで、ターボチャージャーを用いることで、余裕ある性能を実現したのがTFSIエンジンです。TFSIは、ガソリン直噴システムのFSIと、シリンダー内に大量の空気を送り込む過給器を組み合わせたテクノロジー。ガソリンを直接シリンダーに噴射するため、燃料を効率的に燃焼することが可能です。さらにTFSIでは、燃料の気化熱がシリン

ダー内の熱を奪うことから、圧縮比を高めてもノッキングが起これにくく、熱効率が高まりました。Audi A3 Sportbackは、全グレードにTFSIエンジンを搭載。1.4 TFSIは、クラストップレベルの10・15モード燃費：15.8km/ℓを誇りながら、200Nmの最大トルクをわずかに1,500rpmという低回転から4,000rpmの広範囲で発揮。2ℓ自然吸気エンジンをしのぐ余裕ある走りを実現します。1.8 TFSI、2.0 TFSIなら、排気量相応の低燃費を維持しながら、クラスを超えた力強い加速を手にすることができます。



低燃費と高性能を両立するため、エンジンの排気量を小さくすると同時に、低下した性能を過給器により補うのが、ダウンサイジングコンセプト。このコンセプトを具現化したのがAudiのTFSIエンジンで、さまざまなモデルレンジに広く搭載されています。



技術が極めるシフトチェンジ。速攻のSトロニック。

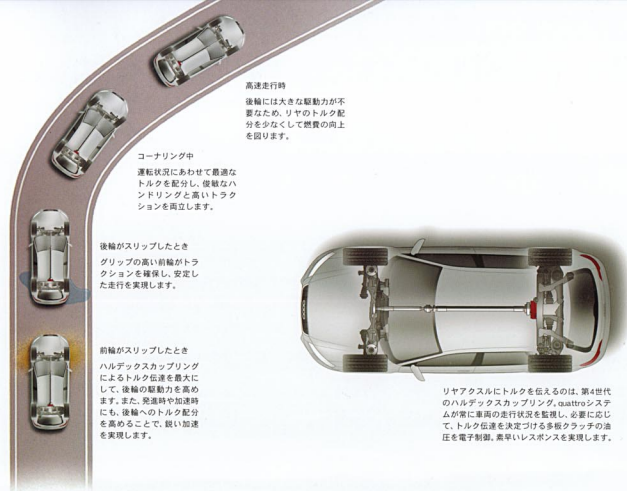
オートマチックの手軽さと、マニュアルの高い効率。そのふたつを同時に満たすだけでなく、さらなる速さと快適さを手に入れたのが、AudiのSトロニックです。運転スタイルはこれまでのオートマチックと同じ。しかし、そのメカニズムはマニュアルトランスミッションをベースに、クラッチとシフト操作を自動化しました。注目は、レーシングドライバー一顧負の素早くスムーズなシフトチェンジ。通常は1組しかないクラッチを、Sトロニックでは2組搭載し、片方が1速、3速、5速(7速Sトロニックの場合は7速も)の奇数段を、もう片方が2速、4速、6速

の偶数段と後退を担当します。一方のクラッチをつなくと、もう一方が次のギアを選択してスタンバイ。シフトチェンジは、クラッチをつなぎかえるだけで済むため、変速に要する時間は0.2秒以下、エンジンパワーに途切れがなく、変速に伴う不快なショックもありません。パドルシフト*やシフトレバーを操作すれば、自在にギアを換えることも可能。速さと快適さ、そして、低燃費を実現する、新時代のトランスミッションです。

*1.4 TFSIはオプション

Sトロニックはエンジンにあわせて2種類を用意。ハイパワーの2.0 TFSIには、高トルクに対応できる湿式多板クラッチ方式の6速Sトロニックを、また、1.4 TFSIと1.8 TFSIには、より高い伝達効率を誇る乾式単板クラッチ方式の7速Sトロニックを組み合わせました。





高速走行時

後輪には大きな駆動力が不要なため、リヤのトルク配分を少なくして燃費の向上を図ります。

コーナリング中

運転状況にあわせて最適なトルクを配分し、優れたハンドリングと高いトラクションを両立します。

後輪がスリップしたとき
グリップの高い前輪がトラクションを確保し、安定した走行を実現します。


前輪がスリップしたとき
ハルデックスカップリングによるトルク伝達を最大にして、後輪の駆動力を高めます。また、発進や加速時にも、後輪へのトルク配分を高めることで、鋭い加速を実現します。

リヤアクスルにトルクを伝えるのは、第4世代のハルデックスカップリング、quattroシステムが常に車両の走行状況を確認し、必要に応じて、トルク伝達を決定づける多板クラッチの油圧を電子制御。素早いレスポンスを実現します。

さらに進化する運動性能。Audiがリードする4WDテクノロジー、quattro。

Audi A3 Sportbackが誇る抜群のドライビングダイナミクスを、さらに高めるテクノロジーが、フルタイム4WDのquattroです。4輪のトルク配分を最適にコントロールすることで、エンジンのパワーをあますところなく路面に伝えるこのシステムは、滑りやすい路面で高い安定性を確保するだけでなく、高速道路での優れた直進性やダイナミックなハンドリング性能、素早い加速など、運動性能のさらなる向上に貢献します。Audi A3 Sportbackに搭載されるのは、電子制御油圧多板クラッチ「ハルデックスカップリング」を用いた軽量・

コンパクトなシステム。フロントアクスルには常に駆動力を伝える一方、ハルデックスカップリングを制御することで、リヤアクスルへ伝えるトルクを無段階に調整することが可能です。たとえば、乾いた高速道路を巡航するときには、リヤアクスルへのトルク配分を最小限にして、ほぼ前輪駆動の走行状況をつくりだすことで低燃費に貢献。また、発進や加速など、後輪に大きな荷重がかかるときには、即座にリヤのトルク配分を最大にして、飛び抜けたトラクションを実現します。

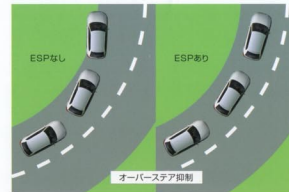


守りたいものがある。瞬々と受け継がれてきたAudiの洗練されたテクノロジー、
抜群のドライビングダイナミクスと安定性能がもたらす安心感。





想定される走行ラインよりもクルマの軌跡が振らむのがアンダーステアです。この場合、ESPは、エンジンの出力を抑えるとともに、内側の後輪にブレーキをかけることで、クルマをコーナー内側に旋回させる力を発生させて、軌道を修正します。



想定される走行ライン以上にクルマがコーナー内側に切れ込むのがオーバーステア。ESPは、エンジンの出力を抑えるとともに、内側に旋回させる力を弱めるために、外側の前輪にブレーキをかけます。

事故を未然に防ぐテクノロジー。ESPは全車に標準搭載。

事故を未然に防ぐことの重要性を知るAudiは、高級モデルに引けを取らないテクノロジーをこのAudi A3 Sportbackにも投入しています。たとえば、ESP (エレクトロニック スタビリゼーション プログラム) は全車に標準装備しました。ESPは、走行時の安定性を確保するための技術。障害物を避けるために急ハンドルを切ったときや、コーナーにオーバースピードで侵入したときなどに、車両がスピンするのを防ぐよう、クルマの挙動が乱れつつあると判断すると、ESPがエンジンの出力を抑えたり、あるいは4輪のブレーキを個別

に制御して、挙動を安定させます。また、加速時にホイールスピンを抑えるASR (トラクションコントロール) 機能もESPの一機能として提供されます。このほかにも、急ブレーキのときでもステアリング操作で危険回避を可能にするABS、急ブレーキが必要ときに制動力を最大限に高めるブレーキアシスト、雨天時にブレーキディスクの水膜を拭うブレーキディスクワイパーなど、各種アクティブセーフティ技術を搭載しています。



運転席と助手席には、衝突の度合いにあわせて2段階に展開量を変える2ステージエアバッグを装備。さらに、前後席分のサイドエアバッグと、頭部を保護するサイドガードを標準で装備します。



鉄壁の守り。充実のパッシブセーフティ機能。

万一、事故に見舞われたときに、乗員の安全性を最大限確保するのがパッシブセーフティ。Audi A3 Sportbackは鉄壁の守りで、高いパッシブセーフティ性能を実現します。その要となるのが、強靱なボディ。Audi A3 Sportbackのボディは、事故の際に衝撃を上手に吸収、分散しながら、乗員の生存空間を確保する強固なキャビンを実現しています。また、追突の際の安全を考慮して、燃料タンクはリアアクスルより前方のセーフティエリアに配置しました。衝突

時に乗員を確実に拘束する3点式シートベルトは全席に用意。エアバッグは、運転席と助手席に、衝突の度合いにあわせて2段階に展開量を変える2ステージエアバッグを装備。さらに、前後席用のサイドエアバッグと、前後席をカバーするヘッドエアバッグのサイドガードの計8個のエアバッグを標準装備しています。追突事故の際、前席乗員を守るための装備として、フロントシートに、頭部や上半身の保護機能を高めたアウディバックガードを搭載しています。

描きたい夢がある。コンパクトなボディの内側に広がるAudiの上質空間。
そこは果てしなく広がる、ドライバーの夢のコックピット。







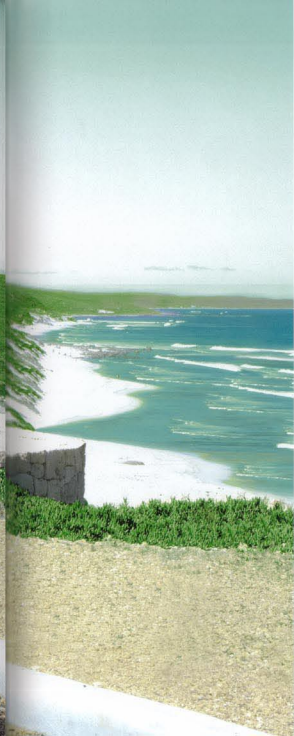
情報もエンターテインメントもこの1台に凝縮。HDDナビゲーションシステム。

快適な移動をお手伝いするため、Audi A3 Sportbackでは、多機能のHDDナビゲーションシステムを2.0 TFSI quattroに標準装備、1.4 TFSIと1.8 TFSIにオプション設定しました。ディスプレイは、7インチワイドVGA方式の高精細モニターを採用。基本機能はタッチパネルにより操作が可能です。ナビゲーションシステムは、高速CPUと40GBのHDDを備えた最新のシステムを搭載。美しい3Dマップを素早く表示することや、さまざまな方法による目的地の検索、そして、正確かつ高速のルート案内が可能です。エンターテインメントとしては、FM/

AMラジオとCDに加えて、DVD再生やSDカードミュージック、i-Podの接続*にも対応。デジタル音楽ファイルはMP3に加えて、WMAとAACも再生が可能です。また、HDDにミュージックデータを保存して楽しむこともできます。地上デジタルTV(12セグ/ワンセグ自動切替)チューナーも標準搭載。さらに、Bluetoothにより携帯電話をワイヤレス接続すれば、ハンズフリー通話が可能です。マルチファンクションステアリングのスイッチによるオーディオの操作も可能です。
*接続ケーブルは、ディーラーオプションとなります

Audi A3 Sportbackには、リセサブワーファー付き10スピーカーシステムを標準装備。すべての乗員が心地良いサウンドをお楽しみいただけます。





ステーションワゴンに匹敵する機能と広さ。アレンジは自由自在。

全長4,290mmのコンパクトなボディに、大人4人が快適に過ごせる広いキャビンと、余裕の収納力を誇るラゲジスペースを確保するAudi A3 Sportback、その優れたパッケージングに加えて、ラゲジスペースの使い勝手の良さも魅力的です。美しいトリムで覆われたラゲジスペースは、フロアからリヤパーセルシェルフまでの間だけでも370ℓ (2.0 TFSI quattroは302ℓ)の容量を持ち、テールゲートの広い開口部により荷物の出し入れが容易です。リヤシートは6:4の分割可倒式を採用。ラゲジスペースに入りきらない長い

荷物を積むときなどには、どちらか片方を倒すだけで収納することが可能になります。また、中央部にはトランクスルー用のフラップが備わり、スキー板など細長い物を積むには重宝します。大量の荷物を積むときには、リヤシートをすべて倒すことで、1,100ℓ (2.0 TFSI quattroは1,032ℓ)の広大なスペースが確保できます。ラゲジスペース内には12V電源ソケットを設置し、各種アクセサリ利用時に重宝です。



リヤシートはシートバック上のレバーでロックを解除するだけで倒すことが可能です。シートクッションを起こしたり、ヘッドレストを外すといったわずらわしい作業は不要です。



秘めたるものがある。Audi A3 Sportbackの美しく端正なデザインを実現しているのは極めて高いプレス成型技術に代表される、クラフトマンのプライドとクオリティ。

美しさと強さ。支えるのは、比類なく高いAudiの成型技術。

鮮やかなラインと滑らかな面とが、美しく端正なフォルムを構成するAudi A3 Sportbackのエクステリア。デザイナーが思い描く微妙な表情を、これほどまでに忠実に表現できたのは、極めて高いプレス成型技術をAudiが持っているからです。ドアをまたがるキャラクターラインに乱れないのも、成型精度の高さを物語っています。前後のドアの隙間がとても小さく、しかも、均一なつくりは、成型の

確かさに加えて、高いボディ剛性の証でもあります。Audi A3 Sportbackでは、軽量ながら高い強度を備える高強度鋼板や超高強度鋼板を多用するとともに、スポット溶接とレーザー溶接を巧みに使い分けることで、高いボディ剛性と軽量化を両立。Audiの優れた成型技術が、美しさと強さを支えているのです。



触感にまでこだわる姿勢。使い込むほどに伝わってくる上質。

プレミアムコンパクトにふさわしく、厳選された素材を用い、上質と精緻を極めたAudi A3 Sportbackのインテリア。上質であっても、決して華美ではなく、むしろシンプルにまとめ上げた端正なデザインこそ、Audiのスタイルです。機能性とデザインを見事に両立するのも特徴であり、たとえばエアベントに施されたシルバーのリングは、インテリアのアクセントとして有効だけでなく、それ自体が

風量調整の機能を備えるという優れたもの。さらに、Audiのデザイナーたちは、見た目の美しさだけでなく、触感にもこだわっています。シートやステアリングホイールのレザーはもちろんのこと、頻繁に操作することになるスイッチについても、小気味好く、そのうえ統一感のある触感を実現。使い込むほどに、指先からも伝わってくる上質さ。所有する喜びを感じる瞬間です。





俊敏にして無駄のない走り、プレミアムコンパクトAudi A3 Sportback。
スタイリッシュに、新しい時代を駆け抜けるあなたへ。

Audi A3 Sportback 2.0 TFSI quattro

Audi A3 Sportbackを、ハイパフォーマンスエンジンと quattroのテクノロジーによって、さらにスポーティに磨き上げた2.0 TFSI quattro。最高出力147kW(200ps)/5,100-6,000rpm、最大トルク280Nm(28.6kgm)/1,700-5,000rpmという圧倒的なパワーを、quattroがあまるところなく路面に伝えることで、俊敏で確実な加速を実現します。路面の状況にかかわらず、常に安定した走行を可能にする一方、スポーツグレードにふさわしい軽快なハンドリング性能が、スポーツドライビングの楽しさを一層高めています。FFモデル並みの低燃費も魅力です。



マルチファンクション&バドルシフト付本革巻き3スポーク
スポーツステアリングホイール
スポーツシート(フロント)



アイビスホワイト(T9)/10スポーク アルミホイール 225/45R17タイヤ

Audi A3 Sportback 1.8 TFSI

余裕あるエンジンパワーと充実の装備が魅力のAudi A3 Sportback 1.8 TFSI。1.8 ℓのTFSIエンジンは、最高出力118kW (160ps) / 4,500~6,200rpm、最大トルク250Nm (25.5kgm) / 1,500~4,500rpmと、2.5 ℓ級のパフォーマンスを誇りながら、14.2km/ℓ (10・15モード)の低燃費を実現。装備も、バイキセノンヘッドライト&LEDポジションランプやパドルシフト付き本革巻き3本スポークステアリングホイール、電動シートなど、上級モデルに匹敵する充実ぶり、プレミアムコンパクトの醍醐味が堪能できるモデルです。



マルチファンクション&パドルシフト付本革巻き3スポークスポーツステアリングホイール【オプション：HDDナビゲーションパッケージ】



本革仕様：ブラック【オプション：SEパッケージ/HDDナビゲーションパッケージ】



アイスシルバーメタリック(P5) / 7スポークアルミホイール 205/55R16タイヤ

Audi A3 Sportback 1.4 TFSI

Audi A3 Sportbackが誇るスポーティな走りや快適な乗り心地、上質な居住空間はそのままに、環境性能を極めたのが1.4 TFSIです。1.4 TFSIエンジンは、1.4 ℓという小さな排気量にもかかわらず、2 ℓ自然吸気エンジンをしのぐ200Nm (20.4kgm) / 1,500~4,000rpmの最大トルクと92kW (125ps) / 5,000rpmの最高出力を手に入れる一方、10・15モード燃費で15.8km/ℓという、クラストップレベルの環境性能を実現しました。爽快な走りや低燃費を実現する、まさに新しい時代にふさわしいAudi A3 Sportbackのベーシックモデルです。



マルチファンクションスイッチ付本革巻き4スポークステアリングホイール【オプション】



本革仕様：ルクソールベージュ【オプション：SEパッケージ/HDDナビゲーションパッケージ】



ブリリアントレッド(C8) / 6スポークアルミホイール 205/55R16タイヤ



デザインから走りまで、際だつスポーツ性。S-line

Audi A3 Sportbackの個性を、さらにスポーティに彩るのが、S-lineパッケージです。デザインから走りまで、Audi A3 Sportbackをトータルコーディネート。エクステリアでは、ロー&ワイドのフォルムを印象づける専用スポーツバンパーと、大型リヤスポイラーが、スポーティさを加速。一方、インテリアは、S-lineのロゴが刻まれた専用スポーツシートをはじめ、専用デザインされた本革巻き 3本スポークス

テアリングホイール、マットアルミニウムのデコラティブパネル、ブラックのヘッドライニング、サイドシルプレートなどが、ドライバーのスポーツ心を熟くします。もちろん、走りについてもスポーティさが向上。15mmのローダウンをもたらすS-line用スポーツサスペンションと、5スポーク アルミホイール(7.5J×17インチ)+225/45R17タイヤの組み合わせが、さらに俊敏なハンドリングを実現します。



バイキセノンヘッドライト&ウイングタイプLEDポジションライト
ハロゲンライトの約2倍の光量の誇るバイキセノンヘッドライトを採用。LEDポジションランプとともに、エネルギーの消費を大幅にカットします。1.8 TFSI/2.0 TFSI quattroに標準、1.4 TFSIはオプション



オートライト機能
周囲の明るさをセンサーが感知し、自動的にヘッドライトを点灯/消灯します。ドライバーは、走行中のわずらわしい操作から開放されます。



カップホルダー
フロントシート、リヤシートに、それぞれ2個ずつ、カップホルダーを用意しました。



リヤコンビネーションランプ
環状に点灯するポジションランプには、光ファイバー技術を用いています。省エネルギーに寄与するとともに、Audiの先進性を表現します



自動防眩ルームミラー
夜間、後続車のヘッドライトが眩しきときに、自動的にルームミラーの反射を抑えます。スイッチにより、機能をキャンセルすることも可能です。



レインセンサー
フロントウィンドウに設置したセンサーが雨滴を感知し、フロントワイパーのインターバルを自動的に調節します。



オープンスカイルーフ
2つのガラスルーフを組み合わせることで、キャビンに開放感をもたらします。前半部はスライドやチルトアップが可能、サンシェイドも備わります。1.4 TFSI/1.8 TFSI/2.0 TFSI quattroにオプション



カミングホーム&リービングホーム機能
周囲が暗い場所でクルマを乗り降りするとき、ランプを点灯させて、クルマの周囲を照らします。クルマの周囲や足もとの確認がしやすくなります



フロントフォグランプ
霧や雨などの悪天候下で、自車の位置を他のクルマのドライバーに確実に伝え、事故を未然に防ぎます。



ステアリングホイール
本革巻きステアリングホイールを標準装備。1.8 TFSIはパドルシフト、2.0 TFSI quattroはさらにマルチファンクションスイッチが装着されます。



電動シート
フロントシートに、前後、高さ、リクライニングがスイッチ操作で調節できる電動シートを採用。電動ランパースポット機能も搭載します。1.8 TFSI/2.0 TFSI quattroに標準。



サンブラインド
リヤパーセルシェルフに、折り畳み式のサンブラインドを設置。後方からの日差しを和らげます。2.0 TFSI quattroに標準、1.4 TFSI/1.8 TFSIはオプション



DIS (ドライバーインフォメーションシステム)
メーター中央のディスプレイに、オンボードコンピューターからの情報(平均燃費、瞬間燃費、平均時速など)や外気温、時計などを表示します。



サポトロニック
車速にあわせてアシスト量を最適にする速度感応パワーステアリング。車庫入れ時には軽、高速ではしっかりと手応えを示します。



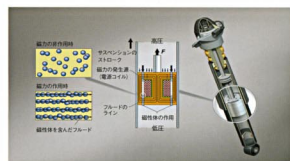
APSリヤ(アウディ パーキングシステム)
超音波センサーにより、後方の障害物の距離を、アラーム音により段階的に知らせます。※後退時は、必ず自視による後方確認を行ってください。1.4 TFSI/1.8 TFSI/2.0 TFSI quattroにオプション



フルオートエアコンディショナー(左右独立温度設定)
設定温度にしたい、送り出す風量や吹き出し口を自動制御。運転時と助手席で別々に温度設定することが可能です。自動内気循環切替機能を搭載します。



アウディヒルホールドアシスト
坂道発進の際、ブレーキペダルからアクセルペダルに足を踏みかえるための数秒間、停止状態を保つことで、車両の後退を防ぎ、スムーズな発進をサポートします。



アウディ マグネティックライド
ショックアブソーバーの内部に磁性体を含んだ特別なフルードを封入し、わずか数十分の一秒でダンピング特性を変化させる連続可変ダンピングシステム。卓越したハンドリングとロードホールディング性能をもたらします。オプション: 1.8 TFSI S-line/バックゲージ/2.0 TFSI quattro ※1.4 TFSIには設定がありません。

Colors

Body Colors ボディーカラー



アイスシルバーメタリック

(PS)



ファントムブラックパールエフェクト

(LB)



アイビスホワイト

(TS)



プリリアントレッド

(CB)



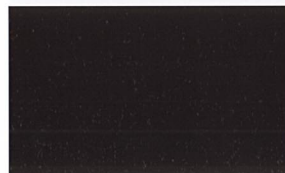
ディープブルーパールエフェクト

(BA)



メタオールグレーパールエフェクト

(XS)



ラバグレーパールエフェクト

(BR)

Interior Colors インテリアカラー



ブラック/フリータエンシェードクロス

(MB)



ブラック/ダイナミッククロス生地

(BS)



ブラック/本革(ヴィエナ)

(MB)



ルクソールベージュ/本革(ヴィエナ)

(BV)



ブラック/スプリントクロス/本革

(GF)

Decorative Inlays デコラティブパネル



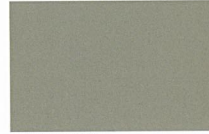
グラナイト



ウッド(ウォールナット)



マットアルミニウム



マイクロメタリックプラチナム

Combination Menu
ボディカラー & インテリア

モデル	インテリアコード	シート生地	デコラティブパネル	ボディカラー						
				アイシルバーメタリック	ファンダムブラックパールエフェクト*1	アイビスホワイト	プリリアントレッド	ディープブルーパールエフェクト*1	メテオールグレーパールエフェクト*1	ラバグレーパールエフェクト*1
A3 Sportback 1.4 TFSI	MB	フリークエンシークロス	グラナイト	●	●	●	●	●	●	●
SEパッケージ	MB	本革(ヴェエナ)	ウッド(ウォールナット)		●	●				
	BV	本革(ヴェエナ)			●		●			
S-lineパッケージ	QF	スプリントクロス/本革	マットアルミニウム	●		●				●
A3 Sportback 1.8 TFSI	MB	フリークエンシークロス	グラナイト	●	●	●	●	●	●	●
SEパッケージ	MB	本革(ヴェエナ)	ウッド(ウォールナット)		●	●				
	BV	本革(ヴェエナ)			●		●			
S-lineパッケージ	QF	スプリントクロス/本革	マットアルミニウム	●		●				●
A3 Sportback 2.0 TFSI quattro	BS	ダイナミッククロス生地	マイクロメタリックブラチナム	●	●	●	●	●	●	●
SEパッケージ	MB	本革(ヴェエナ)	ウッド(ウォールナット)		●	●				
	BV	本革(ヴェエナ)			●	●	●		●	
S-lineパッケージ	QF	スプリントクロス/本革	マットアルミニウム	●		●				●

上記以外につきましても、ご用意できる組み合わせがございます。その場合は受注生産となります。詳しくはAudi正規ディーラーへお問い合わせください。

*1: オプション ●: 推奨組合

インテリアカラー

インテリアコード	シート&ドアトリム	ダッシュボード上部/下部	カーペット	天井
MB	ブラック	ブラック/ブラック	ブラック	シルバー
BV	ルカソールベージュ	ブラック/ルカソールベージュ	ルカソールベージュ	ルカソールベージュ
BS	ブラック/シルバー	ブラック/ブラック	ブラック	シルバー
QF	ブラック	ブラック/ブラック	ブラック	ブラック

Equipment Option

Equipment

標準装備表

			A3 Sportback 1.4 TFSI	A3 Sportback 1.8 TFSI	A3 Sportback 2.0 TFSI quattro	
インテリア	シート	スタンダードシート	●	●	-	
		スポーツシート(フロント)	○	○	●	
		ファブリック	●	●	●	
		スプリントクロス&本革仕様	○	○	○	
		本革仕様(ヴェエナ)	○	○	○	
		マニュアル高さ調整シート(フロント)	●	-	-	
		電動シート(フロント・前後/高さ/リクライニング)	-	●	●	
		電動シスターヘッドレスト(フロント)	○	●	●	
		リヤセンターヘッドレスト	○	●	●	
		シートヒーター(フロント)	○	○	○	
		分割可倒式リヤシート	○	●	●	
		シートベルト	3点式シートベルト(全高)	●	●	●
			高さ調整機能付シートベルト(フロント)	●	●	●
			シートベルトプリテンションナー(前席)	●	●	●
			シートベルトフォースリミッター(後席中央除く)	●	●	●
メーター周り	DIS(ドライバードメインフォーメーションシステム)	●	●	●		
	セレクターインジケター	○	○	○		
	デジタルウォークロック	○	○	○		
	外気温計	○	○	○		
	サービスインターバルディスプレイ	○	○	○		
	各種警告灯	○	○	○		
	オンボードコンピュータ	○	○	○		
	ステアリング & コン트롤	○	○	○		
	サポートロッキング(遠距離店式電動アシスト/パワーステアリング)	●	●	●		
	本革巻き4スポークステアリングホイール	●	-	-		
本革巻き4スポークマルチファンクションステアリングホイール	○	-	-			
パドルシフト付本革巻き3スポークスポーツステアリングホイール	○	-	-			
パドルシフト付本革巻き3スポークマルチファンクションスポーツステアリングホイール	○	○	○			
チルト/テレスコピックステアリングコラム	○	○	○			
本革巻きハンドブレーキグリップ	●	●	●			
空調	フルオートエアコンデュオゾーン(左右独立温度設定)	●	●	●		
	自動内気循環機能	●	●	●		
オーディオ	CDプレーヤー付FM/AMラジオ(2DIN: コンサート)	●	●	-		
	HDDナビゲーションシステム	○	○	●		
	CDプレーヤー/ミュージックサーバー機能/FM/AMラジオ	○	○	○		
デコラティブパネル	ハンズフリー機能(Bluetooth)	○	○	○		
	地上デジタル放送対応	○	○	○		
	リヤサブウーファー付10スピーカーシステム	●	●	●		
	グラナイト	-	-	-		
	マイクロメタリック	-	-	-		
その他室内装備	マットアルミニウム(S-lineパッケージ)	○	○	○		
	ウォールナットウッド(SEパッケージ)	○	○	○		
	オープンスカイルーフ	○	○	○		
	ヘッドライニング(標準)	○	○	○		
	ヘッドライニング(ブラック)	○	○	○		
	センターアームレスト(フロント)	○	○	○		
	センターアームレスト(リヤ)	○	○	○		
	照明付メイクアップミラー(フロント)	○	○	○		
	後席設置付室内灯	○	○	○		
	ストレープ/パッケージ(S-lineパッケージ)シートバック収納ネット/センターコンソール	●	●	●		
機収納ネット/ラゲッジカバー/裏収納ネット+フック/ラゲッジネット	●	●	●			
ワンタッチ式センターロックシステム	○	○	○			
サンブライント(リヤ)	○	○	○			

●: 標準装備 ○: オプション

Equipment Option

Equipment

標準装備表		A3 Sportback 1.4 TFSI	A3 Sportback 1.8 TFSI	A3 Sportback 2.0 TFSI quattro
インテリア	その他室内装備	●	●	●
	カップホルダー(フロント) 個数: 2	●	●	●
	カップホルダー(リヤ) 個数: 2	●	●	●
	フロアマット(フロント/リヤ)	●	●	●
	トランクルーム	●	●	●
	12V電源ソケット	●	●	●
	トランクスルー機能	●	●	●
視界関連	ウインドー	●	●	●
	防眩ストライプ付フロントウインドー	●	●	●
	オールティンテッドガラス	●	●	●
	セーフティ機構付ワンタッチ式リアウインドー	●	●	●
	電気フロントワイパー	●	●	●
	ヒーター付フロントウインドーウォッシャーノズル	●	●	●
	リヤワイパー	●	●	●
	レインセンサー	●	●	●
	ミラー	●	●	●
	自動加熱ルームミラー	●	●	●
	電動格納&調整式 ヒーター付ドアミラー(※赤ディバイス)	●	●	●
	ヘッドライト	●	●	●
	ハロゲンヘッドライト	●	●	●
	バイキセンヘッドライト+ウイングタイプLEDポジションライト	○	●	●
	ヘッドライトウォッシャー	○	●	●
	ヘッドライトハイトコントロール	○	●	●
	自動ヘッドライトハイトコントロール	○	●	●
	オートライト機能 / カミフラホム&リレーホム機能	●	●	●
	フロントフォグランプ	●	●	●
	リヤフォグランプ(左右)	●	●	●
エクステリア	外装パーツ	●	●	●
	サイドウインドーモールディング(ブラック)	●	●	●
	大型ルーフスポイラー	○	○	○
	S-line専用バンパー	○	○	○
	アルミニウムドアシルプレート	-	-	●
	ドアシルプレート(S-line入り)	○	○	○
	エンブレム	●	●	●
	リヤモデルネームエンブレム	●	●	●
	クワトロエンブレム	-	-	○
	S-lineエンブレム	○	○	○
足回り	タイヤ	●	●	●
	205/55R16	●	●	●
	225/45R17	○	○	-
	ホイール	●	●	●
	16インチ 6スポークアルミホイール(6.5J×16) (標準)	●	●	●
	16インチ 7スポークアルミホイール(6.5J×16) (標準)	-	-	●
	17インチ 10スポークアルミホイール(7.5J×17) (標準)	-	-	●
	17インチ 5スポークアルミホイール(7.5J×17) S-lineパッケージ(標準)	○	○	○
	サスペンション	●	●	●
	ノーマルサスペンション	●	●	●
	スポーツサスペンション	-	-	●
	オーディオマグネティックライド	○	○	○
	S-line サスペンション	○	○	○
セーフティ	ESP(エレクトロニックスタビリゼーションプログラム)	●	●	●
	EBD付ABS機能含む	●	●	●
	EDS(エレクトロニックデフレーションシステム)機能含む	●	●	●
	ASR(トラクションコントロール)機能含む	●	●	●
	ブレーキアシスト	●	●	●
	2ステージエアバッグ(運転席/助手席)	●	●	●
	サイドエアバッグ(フロント)	●	●	●
	サイドエアバッグ(リヤ)	●	●	●
	サイドガード(フロント/リヤ)ヘッドエアバッグ	●	●	●
	アクティブバックガード	●	●	●
	ドアフレクター(全席)	●	●	●
	アクティブセルホールドアアシスト	●	●	●
	APSリヤ(アクティブパーキングシステム)	○	○	○
セキュリティ	イモビライザー	●	●	●

●: 標準装備 ○: オプション

Equipment Option

Optional Equipment

オプション	A3 Sportback 1.4 TFSI	A3 Sportback 1.8 TFSI	A3 Sportback 2.0 TFSI quattro
オプションカラー(パールエフェクト)	○	○	○
バイキセンパッケージ	○	●	●
SEパッケージ	○	○	○
本革ウィーナ			
シートヒーター(フロント)			
ウッドパネル(ウォールナット)			
APSLiヤ(7ウディパーキングシステム)			
S-lineパッケージ	○	○	○
S-line 5スポークホイール / 225/45R17タイヤ			
S-line用 スポーツバンパー			
S-line用 大型リヤスポイラー			
S-line エンブレム			
S-line サイドシルプレート			
S-line用 スポーツサスペンション			
マットアルミニウムデコラティブパネル			
スプリットクロスレザースeat			
ブラックヘッドライニング			
S-line ステアリングロゴ			
パドルシフト付本革巻き3スポークスポーツステアリングホイール(1.4 TFSIのみ)			
スポーツシート(1.4 TFSI/1.8 TFSIのみ)			
オンボードコンピュータ(1.4 TFSI/1.8 TFSIのみ)			
サンブライントリヤ(1.4 TFSI/1.8 TFSIのみ)			
HDDナビゲーションパッケージ1	○	○	-
HDDナビゲーションシステム			
オンボードコンピュータ			
マルチファンクションスイッチ(ステアリング)			
HDDナビゲーションパッケージ2	○(S-line)	○(S-line)	●
HDDナビゲーションシステム			
マルチファンクションスイッチ(ステアリング)			

Special Optional Equipment

スペシャルオプション(受注生産)	A3 Sportback 1.4 TFSI	A3 Sportback 1.8 TFSI	A3 Sportback 2.0 TFSI quattro
オープンスカイルーフ	○	○	○
アクティブマグネティックライド	-	○(S-line)	○

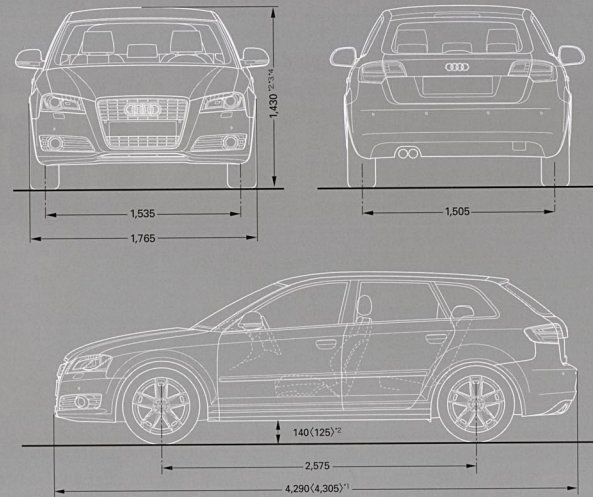
●: 標準装備 ○: オプション設定あり -: オプション設定無し

Specifications

主要諸元表

	A3 Sportback 1.4 TFSI ABA-8PCAX	A3 Sportback 1.8 TFSI 4290 (4,305)*1 ABA-8PCDA	A3 Sportback 2.0 TFSI quattro ABA-8PCCZF	
型式				
寸法・重量	全長(mm) 全幅(mm) 全高(mm) ホイールベース(mm) トレッド：フロント(mm) リア(mm) 最低地上高(mm) 車軸重量(kg) トランク容量(ℓ) 乗車定員(名)	1,430 (1,415)*2 (1,465)*3 (1,450)*4 2,575 1,535 1,505 140 (125)*2 1,380 (1,410)*5 370 5	1,465 (1,450)*2 2,575 1,535 1,505 140 (125)*2 1,540 (1,570)*5 302	
性能	駆動方式 最小回転半径(m) 10・15モード燃費(km/ℓ)※ CO2排出量(g-CO2/km) 2010年度燃費基準達成レベル	前輪駆動 5.1 14.2 147 120	クワトロ(フルタイム4WD) 5.1 12.2 190 110	
主要燃費向上対策		案内直接噴射 電子スロットル 電動パワーステアリング 7速Sトロニックトランスミッション	案内直接噴射 電子スロットル 電動パワーステアリング 6速Sトロニックトランスミッション	
エンジン	エンジン型式 総排気量(cc) エンジン種類 ボア×ストローク(mm) 圧縮比 燃料供給装置 最大出力 kW (ps) / rpm 最大トルク Nm (kgm) / rpm 燃料タンク容量(ℓ) 使用燃料	CAX 1,389 直列4気筒DOHCインタークーラー付ターボ 76.5×75.6 10.0 燃料供給装置 92 (125)/5,000 200 (20.4)/1,500-4,000 55	CDA 1,798 直列4気筒DOHCインタークーラー付ターボ 82.5×84.1 9.8 電子式 118 (160)/4,500-6,200 250 (25.5)/1,500-4,500 無鉛プレミアムガソリン	CCZ 1,984 直列4気筒DOHCインタークーラー付ターボ 82.5×92.8 9.6 電子式 147 (200)/5,100-6,000 280 (28.6)/1,700-5,000 60
諸装置	トランスミッション 変速比 1速 2速 3速 4速 5速 6速 7速 後退 最終減速比 サスペンション：フロント ：リア ステアリング タイヤ ブレーキ：フロント ：リア	7速Sトロニック 3.764 2.272 1.531 1.121 1.176 0.951 0.795 4.170 4.437 (1~4速) 3.227 (5~7速) 4.176 (後退)	無鉛プレミアムガソリン 3.811	6速Sトロニック 3.461 2.150 1.464 1.078 1.093 0.921 - 3.989 4.058 (1~4速) 3.136 (5,6速,後退)

※燃費消費率は10・15モード走行国土交通省審定値。定められた試験条件のもので得た値です。
実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なってきますので、それに応じて燃費消費率が異なります。



単位：mm

- *1 : S-lineパッケージ装着車の場合(+15mm)
- *2 : S-lineパッケージ装着車、アウディ マグネティックライド装着車、およびそれらを同時に装着した場合(-15mm)
- *3 : HDDナビゲーションパッケージ装着車の場合(+35mm)

- *4 : S-lineパッケージ装着車、アウディ マグネティックライド装着車、およびそれらを同時に装着し且つHDDナビゲーションパッケージを装着した場合(+20mm)
- *5 : サンプル装着車の場合(+30kg)

モータースポーツへの挑戦こそ、Audi進化の原動力。



1899
アウグスト・ホルヒが自らの名を冠した自動車メーカー「Horch」を設立。



1909
挑戦への強い願望から、ホルヒは新会社「Audi」を設立。1914年にはヒルクライムイベントで勝利を手にする。



1933
エアロダイナミクスの重要性を認識し、世界で初めての風洞実験を実施。



1934
16気筒エンジンを積むレーシングカー「アウトウニオン タイプA」でグランプリに参戦。



1937
アウトウニオンは54のレースに出場し、32の完全優勝と15の世界記録を達成した。



1937
アウトウニオン・ストリームラーナーが、初めて400km/hの壁を越える。



1981
Audi quattroによりWRCに参戦。第2戦のスウェーデンで早くも勝利を収める。



1985
アメリカのバイクス・ピーク・ヒルクライムで女性ドライバーのミシェル・ムートンが優勝。



1990
ドイツDTMでハンス・ヨアヒム・シュトックがドライバーズ・タイトルを獲得する。



2001
世界で最も過酷なレースとして知られるルマン24時間でAudi R8が初優勝を挙げる。



2006
ルマン24時間でAudi R10がディーゼルエンジン搭載マシンとして初優勝を挙げる。



2009
Audi R8 LMSにより、ニュルブルクリンク24時間耐久レースに挑戦。

— Vorsprung durch Technik —

“未来を切り拓く先進技術”で、環境保護・省資源化に取り組むAudi。

Audiが誇る先進テクノロジーの数々は、ただドライビングプレジャーを高めるためのものではありません。世界に先駆けて導入したエアロダイナミクス、高出力と高効率を両立したFSIテクノロジー、そして軽量でありながら高い剛性を誇るASF（アウディ スペース フレーム）、これらはすべて高い燃費効率をもたらし、走行時のCO₂削減に大きく貢献しています。またAudiは、車両の生産過程においても徹底的なエネルギー管理による環境負荷の低減や、さらなる省資源化に向けた様々な取り組みを進めています。時代の最先端を走る自動車メーカーが、次代のためにすべきことは何か。先進的なテクノロジーと熱意で、Audiは地球規模の課題に応え続けます。

クルマが走り出す前から始まっている、Audiの環境対策。

雨水の利用で、工場からの廃水を69%削減

水資源を無駄にしないため、Audiはインゴルシュタット工場において雨水の使用を推進しています。地下に設置した巨大な貯水罐に雨水を集めて利用することで貴重な真水の使用を削減。さらに、使用される水の96.3%がクロースドループ（閉鎖循環システム）に戻されて再利用されます。これにより、クルマ1台の製造にあたり排出される水の量は、1988年の4.9立方メートルに対し、2007年には1.6立方メートルまで削減されました。

熱資源の有効利用で、CO₂排出量を15,000t以上削減。

Audiグループ内における総エネルギー消費量は、車両の生産台数が増加したにもかかわらず、2007年にも前年と変わらない水準を保ちました。それは様々な熱資源を有効活用した結果です。廃棄物の加熱再処理や焼却に際して生まれる熱を引き込む「長距離ヒートリング」、さらに天然ガスを使用した発熱や発電も併用し、生産計画の段階からエネルギーマネージメントを推進し、15,000t以上のCO₂排出量の削減を実現しました。

最新の汚染防止技術と水性塗装方法により、有機化合物を削減。

インゴルシュタット工場とネッカーズルム工場の塗装部門では、最新の汚染防止技術と塗装方法を採用しており、現在のAudi車の塗装には、一層上のクリア層を除いて、有機溶剤をほとんど含まず、鉛を一切含まない水性塗料が使用されています。これらの取り組みにより、インゴルシュタット工場でクルマ1台を生産する際に有機化合物から排出される物質は、1988年の8.4kg（約296オンス）から大幅に削減され、2007年では1.5kg（約52.9オンス）、約82%もの削減を実現しました。

先進の廃棄物管理で実現した、96.9%のリサイクル率。

2007年、Audiは製造過程で発生した廃棄物のうち96.9%の再利用を実現しました。つまり実際に廃棄処分された量は、わずか3.1%。この結果は、ソフトウェアによってサポートされた先進的な廃棄物管理方法の採用によるものです。組み立てラインから出る通常の廃棄物に関しては、きわめて効率的な回収システムが組み入れ、不定期に出る廃棄物は必要に応じて回収を行う。このシステムが分別の質を向上させ、高いリサイクル率を達成したのです。



様々な環境対策を実現するネッカーズルム工場



TFSI Engine



LEDポジショニングライト



96.9%を達成したリサイクル率



ASF（アウディ スペース フレーム）



TDI Engine

エコロジーとダイナミクスを両立する、数々の革新技術。

スポーティな走りと優れた環境性能を両立するFSI*テクノロジー。

Audi独自の直噴テクノロジーにより、シリンダー内に燃料を直接噴射。一気流らずパワーへと昇華する革新的な「ワユユニット、FSIエンジン」。必要最低限の燃料で高出力と高トルクを生み出すことで、高い燃費効率を発揮。結果としてCO₂排出量の削減に大きく貢献します。このテクノロジーにターボチャージャーを組み合わせた2.0 TFSIエンジンは2008年まで年間連続でインターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、そのポテンシャルと信頼性が世界中で高く評価されています。

燃費とCO₂排出量を削減する軽量ボディ、ASF*（アウディ スペース フレーム）。

安全・環境対策の観点から車重が増える傾向にあるなか、Audiは世界に先駆けてアルミニウムフレームの開発に取り組む。ASF（アウディ スペース フレーム）は、A8のボディで初採用された高強度アルミニウムフレーム構造体です。このフレーム構造にボディパネルを一体化させることで、高剛性と飛躍的な軽量化を両立。ドライビングダイナミクスを向上させるとともに、燃費の向上とCO₂排出量の削減に貢献しました。

燃費効率を向上させる、優れたエアロダイナミクス。

走行中の車体には、常に空気抵抗が作用しています。特に高速走行中は、タイヤと路面の摩擦抵抗より空気抵抗のほうが大きな障害となり、燃費や高速巡航性能低下の要因となります。Audiはモータースポーツの経験をもとに、世界に先駆けてエアロダイナミクスの向上に着手。度重なる風洞実験で生み出されたエアロダイナミクスボディが、優れた走行性能と卓越した燃費効率をもたらし、CO₂排出量の削減に貢献しています。

エネルギー消費を抑えるLEDポジショニングライト。

従来のフィラメントバルブと比べ、高い耐久性と優れた省エネ効果を発揮するLED（発光ダイオード）、AudiはこのLEDをポジショニングライトに採用することでエネルギー消費量を約50%カットしています。また、LEDは他車からの視認性も非常に高く、安全性の向上にも大きく貢献しています。

未来を切り拓く、さらなる環境性能の開発。

ハイパフォーマンス・ウルトラ・クリーン・ディーゼル、TDI*。

Audiはさらなる環境性能を目指して、超低排出ガスを搭載する3.0 TDIエンジンを2010年を目途に日本市場へ導入します。プレミアムSUV、Q7に採用されるこの「ワユユニット」は、1.76kW(24000)の出力と550Nmのトルクを1750-2750rpmという低回転域から生み出し、あらゆる回転域でダイナミックなパワーを発揮し、しかも平均燃費11.0km/lを記録し、世界でも最も早い燃費規制をクリアします。躍動的なドライブインクと驚異的な燃費の両立。これこそが環境問題に対するAudiの新たな解答です。

新世代バイオフェューエルを世界に先駆けて採用。

従来のディーゼル燃料と比較して、ほぼ90%のCO₂排出量の削減を期待されている次世代のバイオフェューエル。2008年のルマン24時間耐久レースにおいて、Audiは参戦するR10に、このバイオフェューエルを世界に先駆けて採用しました。またバイオエタノールや水素燃料など、環境負荷が極めて低い燃料の研究・開発にも積極的に関与。CO₂削減に向けたエネルギー開発を進めています。